



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

DEIR 委員会の活動

はじめに

コロイドおよび界面化学部会では、令和4年度より Diversity, Equity, Inclusion, and Respect 委員会（通称 DEIR 委員会）を設立し、活動しています。当部会は、これまで「男女共同参画」に関する委員会を設けておらず、また、それに関する特別な活動は行っていませんでした。そのため、なぜ急にこのような委員会ができたのか、不思議に思う部会員もおられたと思います。そこで、部会員の方々に本委員会の活動への理解を深めてもらうべく、委員会設立の経緯や活動の意義などを、部会誌 C&I Commun. の特集記事などで報告してきました。今回は、この「部会だより」の場をお借りし、日本化学会の会員の皆様に DEIR 委員会の活動についてご紹介いたします。

DEIR 委員会設立の経緯

DEIR 委員会設立のきっかけは、2019 年に開催された当部会主催の OKINAWA COLLOIDS 2019 でのサイエンティフィックアドバイザーボードメンバーである海外の研究者から、「国際会議を開催するにあたっては、ダイバーシティに関するポリシーを定め、ウェブサイトに掲載して広く示すべきでは？」という進言があったことです。残念ながら、当時はポリシーを作成するまでには至らな

かったのですが、部会としてこのようなポリシーを定めるべきという当時の部会執行部や実行委員会からの声で、DEIR 委員会発足の運びとなりました。

新しく委員会を立ち上げるにあたり、様々な国・地域の学会等のダイバーシティに関する取り組みを参考に、ジェンダーだけでなく、国籍、年齢、アカデミアあるいは企業などのバックグラウンドといった幅広い多様性を考慮し、Diversity, Equity, Inclusion, and Respect 委員会という名称にしました。

メンバー構成

委員会の趣旨に基づき、大学、企業、国研など様々なバックグラウンドをもった、若手からベテランまでの幅広い年齢層の方々、また外国籍の部会員にも委員として参加してもらい、活動しています。ほかの委員会に比べ、女性委員の比率が高い（75%）のが特徴ですが、今後は男性にももっと参加を促したいと考えています。また、当部会の委員会初の試みとして、部会誌などを通じて委員を公募し、積極的に手を挙げて下さった方にも委員に就任していただきました。

委員会の活動

まずは、2026 年 11 月 1 日(日)～6 日(金)に沖縄県での開催が予定されている、部会設立 50 周年記念の国際会議

OKINAWA COLLOIDS 2026 (<https://okinawacolloids.jp>) の DEIR ポリシー作成に向けて、委員会で議論を重ねているところです。Keynote 講演、招待講演などの講演者に関するジェンダーバランスや年齢、地域性などに対する数値目標の設定も重要な検討議題で、環太平洋国際化学会議 2025 で定められている Diversity/Inclusion Statement も参考にしています。

また、コロイドおよび界面化学分野において国内外で顕著な活躍をされている若手研究者を表彰し、さらに先導的な研究への発展を奨励することを目的とする科学奨励賞および技術奨励賞の選考において、出産・育児・介護等のライフイベントにより研究・業務期間に算入されない期間がある場合、奨励賞応募年齢の制限を緩和するよう、委員会から部会に提案し、昨年度よりこれらの期間を考慮した新しいルールでの選考が始まりました。

おわりに

DEIR 委員会は、当部会がこれまで以上に、誰もが尊重され、活躍できる場となることを目指して活動して参ります。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

〔DEIR 委員長・副部会長 懸橋理枝
(大阪産業技術研究所)〕

© 2024 The Chemical Society of Japan